

質 問 順 位	13	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ モ	
1. 市長の基本姿勢	1. ホール整備の構想について	1. ホール整備について市長は統合後の学校の跡地活用を考えているようだが、5年待ってさらに統合後まで市民を待たせることになる。文化芸術の担い手不足や子どもたちが本物の舞台芸術に触れる機会の喪失というのは、時間を置けば置くほど取り返しのつかない文化の衰退を招く。統合及び供用開始までの期間に、例えば音響を良くするために市民交流プラザの床を改善する、美術自然史館のこども科学館跡などを転用する、音楽公民館のトイレや空調を改装するなど、さらなる暫定的な対策を講じていかねばならないと考える。まともな施設がないことによる文化活動の機会損失を市は政策課題としてどのように認識しているのかを伺う。		
2. 行政運営	1. 市庁舎のピアノについて	1. 市庁舎1階ロビーのピアノは、窓口業務や2階図書館との兼ね合いもあり、年に1度の演奏機会に留まっており、今後の利活用について以前の定例会の答弁で「庁舎内での移動も検討する」とあったが、その後どのような検討を進めたのかを伺う。		
3. 市民生活行政	1. 有害外来種の発生状況について	1. 環境省と農林水産省が生態系被害防止外来種に指定しているアメリカオニアザミが全国で話題になっており、本市でも多数確認されている。軍手を貫通するほどの鋭い棘により除草は容易ではなく、不用意に触れてしまった子どもやペットが怪我をする懸念もある。特に公園や通学路、保育所、学校周辺等での駆除を積極的に行うことが望まれるが、本市の状況と対応について伺う。		

質 問 順 位	1 3	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
4. 保健福祉行政	1. 子どもの人権について	1. 昨年の第1回定例会で市長は、子ども自らが権利の主体であることの周知に向けた人権教育の推進を示した。現在本市では、公園の遊具を決める際のアンケートや新しい学校の構想を考えるワークショップなど「子どもの意見表明権」の実践とも言える取り組みが行われており大変評価している。これらは個別事業の成功事例として終了するのか、それとも市の政策形成における恒常的な仕組みにしていくのか考え方を伺う。		
	2. ひとり親家庭への支援について	1. ひとり親世帯への支援と言えば、児童扶養手当や医療費助成などの国が主体となった経済的な支援が中心である一方で、精神的な孤立を防ぐ取り組みも大変重要である。福岡市や札幌市のひとり親家庭支援センター等が行っている取り組みのように、本市においてもひとり親家庭の生活上の負担やニーズを把握するとともに、国や道の制度を活用したソフト面の支援を導入する考えはないか、本市のひとり親支援の現状と見解を伺う。		
5. 教育行政	1. 音楽公民館について	1. 現在、音楽公民館は市内の団体・個人の重要な活動拠点の一つとなっている。1階講堂にエアコンが整備され、利用者に安堵の声が広がっている一方で、他の部屋には空調がなく、網戸や大型扇風機で対応しているが、網戸ははめ込み式のため設置時に虫が入ってくる。扇風機は音が大きいため、演奏の際は使用を我慢するといった形で市民は苦慮しながら利用している。ほかにも周辺の街灯が少なく夜間は危ない、トイレが狭く車椅子が入れないなど、様々な課題を抱えているが、音楽公民館を今後も本市の文化活動拠点として維持・活用していく考えであるのかを伺うとともに、維持するのであれば、施設として最低限必要な環境整備を計画的に行うべきではないかと考えるが、見解を伺う。		

質 問 順 位	1 3	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	2. 学校の熱中症対策について	1. 先日、熱中症で倒れた中学生に遭遇し介抱を手伝ったところ、午前中体育大会があり、陽を遮るものがない状態で鉢巻をして数時間炎天下のもとで運動をしていたとのことだった。帽子が無理なら、テントを用意する、飲み物を用意するなどの最低限の熱中症対策が必要であると考えるが、現在の市内中学校の体育大会の状況と熱中症対策を伺う。		
		2. 現在小中学校の教室にエアコンが設置されているが、特別教室（理科室・音楽室・体育館など）にはいまだに空調設備がないところも多い。暑い日は理科室でなく教室で実験を行う等の対応をしている学校もあるが、特別教室へのエアコン設置の可能性について見解を伺う。		
	3. 生理による身体的・心理的負担への配慮について	1. 中学校の個室トイレに生理用品が配置されるようになり1年以上が経過した。先日小学校でテスト中に途中退席を我慢し、休み時間に急いで保健室でナプキンをもらってトイレに向かっていたら男子からからかいに遭ったという女兒がいた。こういった小さな出来事でも、児童の心理的負担は非常に大きく、生理のトラブルがきっかけで不登校等につながったケースもある。半数が小学生で初潮を迎える現代において、生理による身体的・心理的負担を学校生活上の不利益として市がどう捉えているのか、併せて小学校の個室トイレに生理用品を配置することについて見解を伺う。		